

外来における在宅療養支援能力向上のための研修－診療所・クリニック勤務者向け－

- 1 目的
 - ・外来看護を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。
 - ・習得した知識を、在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。
- 2 主催 山形県看護協会
- 3 方法 インターネットを利用したeラーニング講義を受講後、演習を受講する。
※ 演習受講はeラーニング講義の終了が必須条件となる。
- 4 期日・会場
 - 1) eラーニング受講
令和6年8月1日～26日の期間内に、自施設・自宅等で受講すること。
 - 2) 集合演習日 来場して受講すること
日時：令和6年9月1日（日） 13：30～16：00
場所：山形県看護協会・看護研修センター3階第1研修室
〒990-2473 山形市松栄1-5-45
- 5 定員 30名
- 6 対象者
 - 1) 診療所・クリニック等に勤務する看護職
 - 2) 病院の外来に勤務する看護職（救急外来勤務も含む）
 - * 1) に該当する方を優先的に受講決定し、定員に満たない場合は2) に該当する方の中から抽選で受講決定する。
 - * 1) 2) とともに、常勤・非常勤等の雇用形態、短時間勤務等の勤務形態は問わない。
- 7 内容 プログラム参照
- 8 申込期間 令和6年7月1日（月）～令和6年7月26日（金）
- 9 申込方法 山形県看護協会研修受講システムmanaableから申し込む。（要事前利用登録）
- 10 受講決定 令和6年7月29日（月）に、研修受講管理システムmanaableに登録されているeメールにより通知する。
- 11 受講料 会員：2,470円 非会員：4,570円
- 12 納入方法 受講決定通知を受けた後、manaable内で支払い手続きを行う。
- 13 連絡先 公益社団法人山形県看護協会 教育研修課
〒990-2473 山形市松栄一丁目5番45号
TEL：023-685-8033 FAX：023-646-8868
E-mail：kensyu@nurse-yamagata.or.jp

外来における在宅療養支援能力向上のための研修 ～講義と演習を組み合わせた研修です～

在宅療養支援の要となる外来看護職を対象とした研修です。講義はeラーニング、演習は集合で学び実践力を強化します。

研修目的

- 外来看護を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。
- 習得した知識を在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。

受講対象

診療所・クリニック等に勤務する看護職

ただし定員に満たない場合は、病院の外来に勤務する看護職の方の受講も受け付けます。
いずれも常勤・非常勤等の雇用形態、短時間勤務等の勤務形態は問いません。

受講方法および演習日（会場）・定員

eラーニング講義を受講後、下記日程の集合演習に出席してください。

日時：令和6年9月1日（日）13：30-16：00 定員 30名

場所：公益社団法人山形県看護協会会館・看護研修センター（山形市松栄1-5-45）

申込方法

- 山形県看護協会研修申し込みサイト manaable から申し込む。
- *右のQRコードを読み込んでサイトにアクセスしてください。
- *会員・非会員問わず利用可能ですが、事前登録が必要です。



研修受講料

山形県看護協会会員：2,470円 非会員：4,570円

問合せ・申込先

公益社団法人山形県看護協会 教育研修課
〒990-2473 山形市松栄 1-5-45
TEL 023-685-8033 Fax 023-646-8868
e-mail kensyu@nurse-yamagata.or.jp

外来における在宅療養支援能力向上のための研修プログラム

【 eラーニング (200分) 】

章	単元／主な内容	講師(所属等)*敬称略	時間
1	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割 1. 外来看護を取り巻く環境の変化 2. 外来医療に関する政策動向 3. 社会の変化と政策動向に基づく外来看護職の役割	吉川 久美子 (公益社団法人日本看護協会 常任理事)	40分
2	外来における在宅療養支援 1. 在宅療養支援とは 2. なぜ在宅療養支援が必要か 3. 在宅療養支援を担う看護職の役割	永田 智子 (慶応義塾大学看護医療学部 教授)	40分
3	在宅療養支援を支える地域連携とネットワーク 1. なぜ地域連携が必要か 2. 地域との連携体制構築の方策	吉田 千文 (常磐大学看護学部教授)	40分
4	在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援 1. 意思決定の現状と課題 2. 外来看護職に求められる意思決定支援	藤井 淳子 (東京女子医科大学病院 家族支援専門看護師)	40分
5	在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源 1. 在宅療養患者が活用可能な社会資源の基礎知識 2. 地域における多職種連携・協働の実際と推進の必要性	松本 明子 (医療法人社団聖カタリナ病院 ナースマネージャー)	40分

【 事前課題 】

eラーニングによるすべての講義を受講後、演習実施前までに下記の①②について、受講決定後、資料と共に配布する事前課題シートに記述し、演習当日に持参する。

- ①地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
- ②外来における療養支援について自身が感じている課題

【 演習 150分 】

主な内容	
講義	地域の現状や自施設を取り巻く状況等について
事例検討	グループディスカッション
全体共有	グループからの報告および質疑応答・意見交換